

3. 阿寒湖温泉地区

(1) 地区の特性

阿寒湖温泉地区は、本市の北部、阿寒国立公園内に位置し、阿寒湖、雄阿寒・雌阿寒岳をはじめとする、国立公園内の豊かな自然を背景に、湖水に面して大小のホテルや旅館、民芸品店や飲食店などが立ち並び温泉街を形成しています。

また、アイヌ文化の発信地である北海道最大のアイヌコタン（アイヌ集落）や阿寒湖畔エコミュージアムセンターなどの観光施設が整備され、多くの観光客が訪れる、北海道を代表する観光地となっています。

(2) 景観形成の基本目標

地区の特性を踏まえ、「阿寒湖温泉地区」の基本目標を次のとおりとします。

美しい景観・優れた自然環境を
楽しめる景観づくり

(3) 景観形成の方針

景観形成の基本目標を実現するための、景観形成の基本方針を次のとおりとします。

① 周辺自然環境と調和した景観づくり

阿寒湖をはじめ多くの自然環境が残されている地区であり、温泉街に花や植樹による緑化や、阿寒湖へ注ぐ河川環境の改善など、周囲の自然と調和した景観形成を図ります。

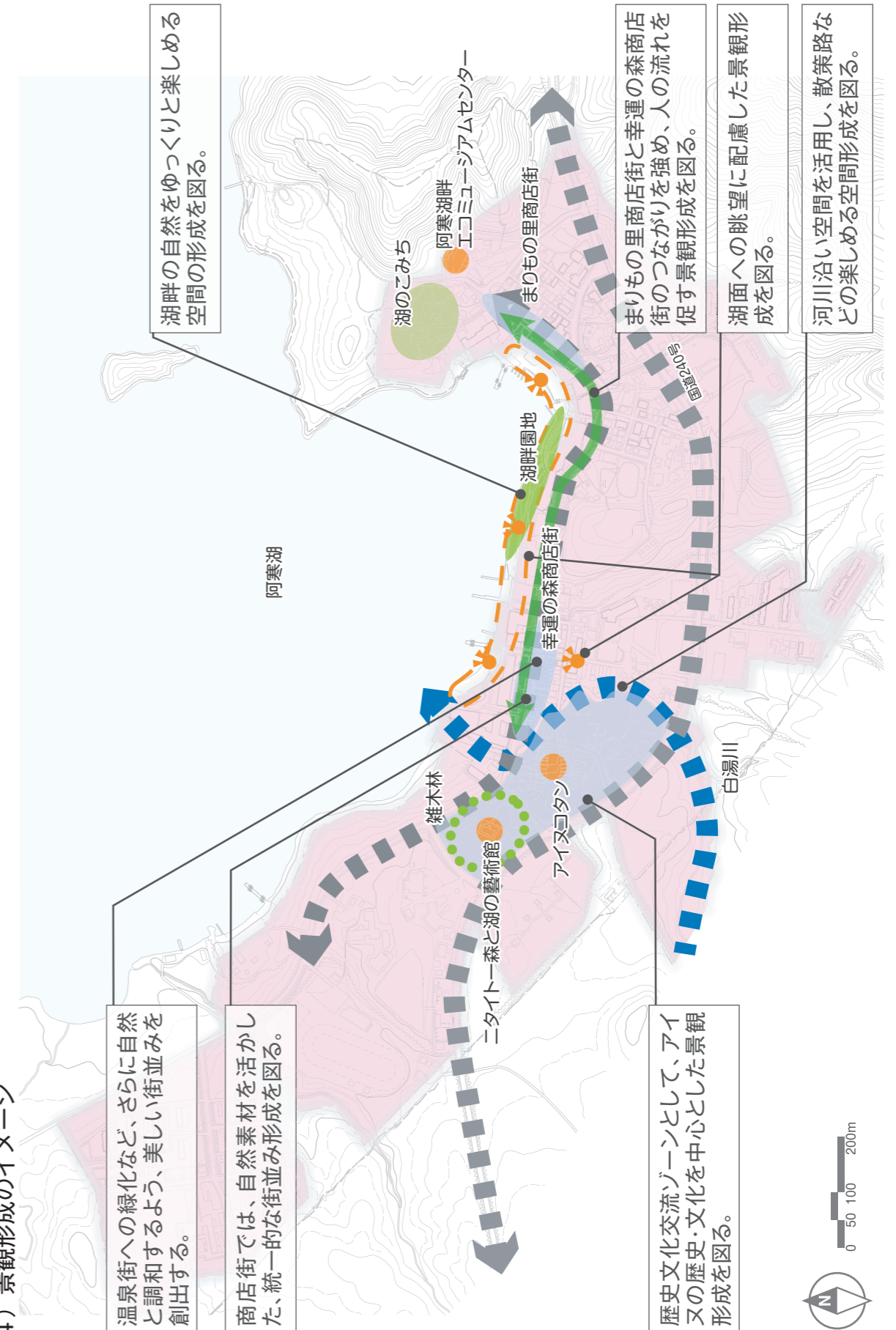
② 歴史・文化を活かした景観づくり

阿寒の代表的な観光資源であるアイヌコタンや森と湖の美術館など、阿寒の歴史・文化が色濃く残されている地域であることから、街並みや広場空間の形成などに対してこれらを活かした景観形成を図ります。

③ 北海道を代表する観光地にふさわしい景観づくり

多彩で優れた自然環境を活かし、湖畔の自然をゆっくりと楽しめる空間の形成や、美しい街並みを形成するなど、北海道を代表する観光地にふさわしい景観形成を図ります。

(4) 景観形成のイメージ





3節 景観形成推進区域における景観形成

1. 道道釧路空港線周辺地区

(1) 地区の特性

道道釧路空港線周辺地区は、東北道の空の玄関口である釧路空港を有し、釧路湿原、阿寒、知床国立公園をつなぐ重要な観光ルートに位置しています。

また、阿寒川により形成された扇状地には、本市の代表的な産業景観の一つでもある*酪農景観が広がり、遠景に丘陵地が連なる地区となっています。

(2) 景観形成の基本目標

地区の特性を踏まえ、「道道釧路空港線周辺地区」の基本目標を次のとおりとします。

田園景観の保全と*沿道景観の形成による
東北道の玄関口にふさわしい景観づくり

(3) 景観形成の方針

景観形成の基本目標を実現するための、景観形成の基本方針を次のとおりとします。

① 東北道を感じる牧歌的な景観づくり

牧歌的な風景の保全、育成に努め、東北道を代表する田園景観の形成を図ります。

② 優れた眺望を活かし、広がりを感じられる景観づくり

丘陵部の眺望の開けた場所や、広く見渡すことができる場所などからの眺望を活かし、田園風景の広がりなど、釧路の広さを体感できる景観形成を図ります。

③ 釧路らしい印象的な*沿道景観づくり

東北道の空の玄関口であり、阿寒国立公園をはじめとする観光拠点へ続く地区であることを考慮し、印象的な*沿道景観の形成を図ります。

④ 酪農地帯の背景を飾る景観づくり

酪農地の背後に位置する丘陵地は、本市をイメージさせる代表的な景観であり、樹林の保全や育成による緑の景観形成を図ります。